京城新報

●新聞料 ▲一部金七錢▲一ヶ月前金三十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 四月二十八日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

冥途より通信（上）

伊藤老公閣下 亡者 星亨より

冥山生

▲季は漸く初夏に入り候へども卯の花くだし霖やかに降りつ降らずみの昨今の天候には何となく氣も沈み自づと欝陶敷被成候、扨其の後小生よりは非常に御無音に打ち過ぎ何とも面目次第も無之候、さはいへ偏にさま十萬億土の遠き海山を隔つる間に候へば不絶通信機關に故障を生じ加ふるに小生冥途に轉籍を移してよりは更らに筆などを執る暇とては無之のみならず御承知の通り小生が生前に敢てなせし不善の罪業は此の世界に來ると共に覿面にも峻嚴なる閻魔の刑罰を受け、日々過激なる苦役に從事いたし居り候次第にて書面なども認むる氣勢は如何樣にしても無之、歸宅後一合の濁酒に陶然として終日の苦を忘れ前後の正体もなく其の儘寢に就くといふ有樣御無音の罪は實は右の次第に候へば萬々御許し被下度候、而して小生が昨今從事しつゝある工事は今春の洪水の爲め崩壞せし三途の川の堤防に候呵々……

▲閣下の年齡は今年六十九才と被存候が不相變酒と女に其の日を送り被居候やドウぞ女の爲めには浮名を流せし閣下長い浮世に短かい命、仕たい放題の事を仕盡して此の世を去るに若くは無之候やうには被存候も未來の此の世は決して／＼然らず、ソレ相當に嚴重なる刑罰の行はるゝものに候、先年當地に簀を易へし、一代の文士福地櫻癡氏の如きは御承知の通り前世に於て歸徳を素り、而も閣下の如くまだ年端も行かぬ若き婦人を渉りし罪より昨今は氣の毒にも魑魅魍魎の出沒する暗黑なる牢舍に投ぜられ晝夜怪し氣なる呻めきの聲を發して徒に出獄の一日も速かならんことを、待ち焦れ居る有樣に候、思ふに無常の風の明日をも知らぬ閣下におわりては殊に御謹愼有之やう呉々も忠告いたし置き候

▲先達小生が三途の川の堤防工事に從事いたし居り候際新亡者を載せたる一艘の定期航海船は波を截つて彼方より疾走し來り候へばもしや知人にても之れあらんかと工事の手を廢めて其の船中の亡者を打ち眺め候しに圖らずも大三輪長兵衛氏が其の中に混り居り候ひしより小生は懷かしき情に堪へず早速碇泊所にいたりて氏に面會せしが其の際同氏より閣下の事ども逐一聞知いたし又韓國の近狀に就ての事情をも知るを得候

▲サテ無き數に入りし小生、敢て言を復雜なる娑婆の事柄に挾み以て閣下の餘生を煩はす譯には無之候もし大三輪氏の言にして果して眞なりとせば小生は閣下に向つて一篇の苦言を呈せざるを得ず候其は餘の儀には無之閣下が韓國の統監としての遣り口に候斯く申すも閣下に取りては或は癪の種かは不存候が閣下が老後の身を提げて韓國經營の主宰者となり統監の榮職を辱うしてより爰に滿二ヶ年の星霜を閲し候も其の大体に於ては別に之を申して見るべきの治績更に無之樣子に候、勿論其の間短日月に候へば强ち世人の思ふ通り出來兼ぬる節も有之候やとも被存候が假りに小生をして九地の下より蘇へらしめて閣下の地位に起たしめ候ひなば小生は隨分派手に遣つて除ける積りに候（つゞく）

●外國貿易旬報

（五月中旬分關稅局調査）

區分	本旬 本年分	前年同期
輸出品價	二六七、三二三圓	五四三、五二六圓
輸入品價	一、四四〇、七〇五	九四一、三九一
合計	一、七〇三、〇二八	一、四八三、九一九
輸入超過	—	—

本年貿易額の港別左の如し

港名	本旬分 輸出額	輸入額	計
仁川	五〇、五七三圓	九五八、〇二三圓	一、〇〇八、五九五圓
釜山	九〇、六九一	二〇四、四〇九	二九五、一〇〇
元山	六、五四二	三七、九六八	四四、五一〇
鎭南浦	四五、四四四	六九、八八〇	一一五、三二四
京城	—	八九、三八六	八九、三八六
群山	三三、一二〇	七、六一七	四〇、七三七
木浦	八、四四五	一五、四四八	二三、八九三
馬山浦	五、五五七	九、四四九	一五、〇〇六
淸津	—	五、五七五	五、五七五
城津	一五、七六三	四、一〇八	一九、八七一
新義州	三、一二八	三、八六三	四三、九九一
計	二六七、三二三	一、四四〇、七〇五	一、七〇三、〇二八

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

港名	前年一月以降本旬迄の累計 輸出額	輸入額	計
仁川	一、三四一、三三五圓	六、〇八二、六六四圓	七、四二四、〇三六圓
釜山	一、五四〇、二六〇	三、一六八、五一八	四、七〇八、七七八
元山	二三〇、七三三	一、一〇三、四五七	一、三三五、一九〇
鎭南浦	五三六、三七九	一、一二四、二六五	一、六六〇、六四四
京城	二、七一九	一三三、三二四	一三六、〇四三
群山	九六九、五八六	二二七、九八六	一、一九七、五七二
木浦	五五五、九六三	二四三、八六六	七九九、八二〇
馬山浦	一〇九、一八七	四六五、〇二〇	五七四、二〇七
淸津	—	—	—
城津	三七、〇二二	九三、一七一	一三〇、一九三
新義州	一〇八、一八六	二〇九、三三四	三一七、五二〇
計	五、五三三、四四四	一二、七四一、〇二七	一八、二七四、四七一

輸出重要品表

品名	本旬 本年分	前年同期
米	一〇六、五四三圓	三〇四、六〇九圓
大豆及小豆	六九、五三六	五九、八〇五
鮮魚乾魚及鹽魚	三、一四三	三、一四三
牛皮	八、五二七	八、八六七
人參	—	—
棉花	一、一三六	—
生牛	三、一七三	二七、二七三

輸入重要品表

品名	本旬 本年分	前年同期
食鹽	一二、一五五圓	一七、四三三圓
砂糖及精糖	二〇、八四四	一四、二七七
麥酒	一七、八九五	三、五四三
石油	一三六	一、五六八
打綿	七四	一、四三一
綿織糸	三、六〇五	七〇、〇三九
生金巾及シーチング	三三、七六二	二八、四五七
晒金巾	二五、一八八	一四、四〇〇
日本木綿	五〇、三二〇	五五、六一七
麻布	四四、八四二	九、二三一
絹布	二九、二三六	一八、一四四
紙	三三、〇四三	八、四四二
石炭	二〇、四九二	一〇、〇四四
熟鐵	三一、八五五	三六、六五三
烟草（葉卷を除く）	一七、七六三	一〇、三六八
木材及板（枕木を併す）	二八、〇一五	八二、二三六
セメント及石灰	九、二六八	二二、一七一
マッチ	五、四九〇	七、八三九

新刊紹介

●東京經濟雜誌● 本號に於ける重要の記事としては「金融の景況」「内閣は財政整理會議を開くべし」「浦港の自由港存廢問題」「井上〇〇の財政救濟策」等なるが依例何れも有益にして斬新確かに讀者の一讀に値すべきものあり（一部十二錢東京京橋東京經濟雜誌社發行）

●大連實業會々報● 大連實業會より發行せるもの最近大連に於ける貿易の狀況金融の異動等歷々として掌を指すが如し殊に冒頭に挿入せる寫眞版及び言論等は見るからにうれしく會報といはんよりは寧ろ完全なる一個の雜誌とこそいふべけれ（月一回發行大連市大山通大連實業會事務所）

●京城理事廳令達● 本年五月一日現行の京城理事廳令達を編纂したるもの内容は官規、保安、衛生、風俗、營業、交通等に分てるが苟も職を當地の官公署に奉ずるもの〻常に坐右を離るべからざるものたり（發行所京城理事廳）

●チヨンゴシ● 例に依つて花柳界の消息を遺憾なく素ツ葉拔けるもの號を逐ふて從つて益々盛勢となり行くは此の種の趣味に渇望せる當地の人々に取りては定めし滿足とする所なるべし願はくばチヨンゴシの本義を益々發揮し月を重ぬるに從つて隆盛の域に達せんことを（一部五錢本町六丁目チヨンゴシ社發行）

小說 新不如歸（二十一）

篠原嶺葉著

足柄は今までの高調子をガラリと變て、

『精神一つと云ふは、所謂魚心あれば水心ありといふ事だ、貴樣がどうぞ秘密を緘默して下れと頼むなら、事と品に依れば緘默して遣らんものでも無いが、では俺の云ふ事を承入れるか。』

『そりや此のまゝ緘默して下れると云ふなら、甚麽事でも承入れる。』

『宜しい貴樣が承くと云ふなら、昔の友達効に緘默して遣らう……外の事ぢやない貴樣が黒坍公から貰つた報酬の中、澤山とは言はん三千圓だけ俺に分配せ、どうだ可厭か、生命代りに僅か三千圓てんな安い相場があるもんか、[illegible]』と云ひ了つて、空嘯きながら返答を促すのである。

西脇は其陋劣なる精神を心中に蔑みながら

『宜しい、三千圓の金子の事で秘密に葬つて下れるなら、後刻とも云はず此場で直に渡して遣らう、其代り堅く秘密は守つて下れるだらうね。』

『念を押すに及ぶもんか、足柄平太は軍人だぞ、緘默すると云つたら心配するな、必然秘密に葬つてやる。』

『では、暫く待つて居て下れ、金子を出して來る。』

と、西脇は室を出たが、やがて十圓紙幣の束ねたを三つばかり手にして入り來り。

『サア檢めて受取つて下れ、十圓紙幣が百枚宛に束ねてある。』

バタリと三束前に出せば、足柄は手に取上げ

『豈夫數に間違は無いだらう、慥に三千圓受取つた、しかし西脇、俺に見付つたは貴樣の僥倖だぞ、有難く思へ。』

と、飽まで橫柄な辭を出し、其まゝ挨拶もせず歸つて行つた。

先刻から襖越に聞いて居た槇子を始め三人は、足柄が歸ると共に西脇を三方より取圍み、

『まあ義祐、私は奈何なる事かとハラ／＼して聞いてたが、お前はまあ飛んだ卑しい了簡を出して下れたね、亡くなられたお父樣は這麽淺猿しい了簡を出さうとは御存じないか。義祐は俺の氣性と能く似てるとうれは／＼幼少時から一方ならず可愛がつて被在つたに、事もあらうに言はゞ敵國同樣の露國のために、手先となつて働くとは何と云ふ見下げ果た精神だらう、私はあんまり悲ふて、物、物が言はれません。』

と、涙は老の兩眼より溢るゝのである。すると妹百合子も、涙を袖に拭ひあへず、

『兄樣、飛んだ事爲て下さいましたね、貴方に限つて那樣卑劣な事を爲さらうとは今日の今まで夢にも思ひませんでした一体奈何云ふ精神から露國なんかのために御國の大事を明しなさつたのです、それは日々の生活にでも困る身分と云ふなら又欲の爲と云ふ事もありますけれど、軍人仲間では他から羨まれる程の財産があつて、其上兄樣だつて相當の俸給を戴いて居なさるぢやありませんか、何が苦しくつて犬畜生とまで言はれながら、辭一つ返す事の出來ない程の行ひをなさいました、それで貴方は西脇家の祖先へ恥しくはありませんか、世間から崇められ程賞められなすつた、お父樣の御位牌に申譯がありますか、貴方は知れないと思つて居なさるか知らんけれど、惡事千里の世の譬へで、何處から知れないとは申されません、若も世間に知れて御覧なさい、ヤレ西脇は露探だの、國を賣る國賊だのと、それは／＼犬畜生同樣に罵つて、誰一人見向をして下れる者も無くなります、貴方は覺悟の上でなさつたとしても、年老つた母樣や、貴方一人を便にしてゐられる姉樣や、唯た一人の妹が可愛と思ては下さいませんか。』

百合子は其場で泣き伏した。



京城新報

露韓國境の貿易

一度自由港となりて商品輸出入の門戸開放せられたる浦潮斯德は、今や自由港制度を撤裁して舊時の軍港に復するに決せりとの報に接す、然らば東洋に於ける露國の自由貿易港は絶無なるに至らむ、南は彼得大帝灣より北は白海々峽迄一の自由港なし、敦賀浦港間の交通頻繁となり、從て日露の貿易盛ならむとするに當て此事あり、嗚呼之れ相互の爲に大なる不利ならずや、浦潮の自由港制撤裁は軍事上の關係より止むなく此擧に出るならむも、實際に於ては浦潮港を閉鎖することは西比利亞全体の發展を妨るなり、露國と雖も一の自由商業港を有することの必要あるべし、余輩の想像にして誤りなくんば、宜しく露國と妥協してポシエット灣に近接せる北韓の港灣を修築して、之を貿易港として双互の便を計らば日露韓三國の利益にあらずや、これが港灣の修築と共に豆滿江頭露韓の境上に一の貿買市場を開設すべし、滿國の北境略哈多の貿買場は露清貿易の中心なり、漢口の紅茶磚茶が此貿買場を經て、西比利亞內地に輸送さるゝもの毎年八百萬留の多きに達す、紅茶磚茶のみにして斯の如し、全体の貿易額の巨大なる推して知るべきのみ、ポシエット灣に近き北韓の港灣を修築して自由港となし、露韓の境に以上の如き貿買市場を開設し、日露韓の物產を茲に集めて取引をなさば双互の利する極て大なる推して知るべきなり、

帝國政府にして交渉せば露國は決して拒まざるべしと信ず、何となれば露國も亦た其利益を享受すればなり、此交渉に應じて協約すれば豆滿江に行はるゝ密貿易を防ぐことを得るなり、ヲリガ灣以南ポシエット灣に至るの海產、白拉照才斯珍斯克以南の毛皮は茲に集り、北韓の澤々たる牛羊、日本の雜貨等總て茲に取引せらるゝに至らば其貿易額亦尠からざるべし、此事決して等閑に付し去るべき問題にあらざるべし、北韓開拓の要を知るものは亦之れ一の緊急問題として研究すべきなり、

先づ一歩を進むべし、北韓全体の開拓、運輸機關の設備急を要すと雖も、外債を起すに非ずんば、現時の財政は容易に遂行し能はざらむ、故に當面の問題を遂行せざる可らず、余輩は一は當局者に向て注意を喚起し一は北韓在留の帝國民に向て此問題を遂行する爲め、之を調査して具体的の案を建て當局者を鞭て決行せしむるの勞を取らむことを勸告せむと欲する也、

地方政の改善

韓國統治の上に於て最も必要にして亦最も急務なるは地方政の改善なり、制度如何に美なればとて今日の如く當局觀察使にして無能ならんには改善の實を擧げんことは到底望むべくもあらざるなり、須く京城日報子地方政に就て人の制度以上に大切なるを說く余輩は今に於て偏制度主義の統監が日報子の言に聽かんことを望むや切なり

英美煙草

英美煙草會社は其亞細亞部の主力を擧げて正に我官煙と半島の市場に於て雌雄を決せんとするの狀を示せり、之が當面の對手たるべき我專賣局の覺悟は如何、我統監府に於ては煙政の前途に就て此際一考再考を要せずんばあらざるなり

東京電報

▲選擧法違反數

今日迄に警保局に達したる今回の總選擧に關する選擧法違反事件は三百四十一件にして其の人員は二千四十三人なり而して此の內物品贈與饗應に關するもの二百九十九件人員千九百三十九名、暴行刑六件五十二名其の他三十六件五十二名なり

▲赤十字社大會

六月一日日比谷公園に於て擧行する赤十字社大會には來會者十餘萬人に達する豫定なり

▲南滿社債

南滿鐵道會社々債はゴールデン商會主となりてシンヂゲートの間に分配し公衆募集をなさず尙殘額二千萬圓の社債も遠からず成立の筈なり

▲萬國議員大會

八月伯林に於て開催せらるゝ萬國議員大會には衆議院よりも參列せしむべく政府側も勸誘中なり（以上二十六日發）

各地電報

▲海賊十五名を捕ふ

廿二日甕津部駐在巡查三名は『ギリンチオ』に於て海賊十五名と交戰し其の全員を捕へ銃八挺火藥約百匁彈藥一袋を鹵獲し只今當地警察署に押送し來れり（二十六日海州發）

雜報

●觀察使會議（第三日）

廿七日午前十時半開會出席者前日の如く會議に入るに先ち木內次官は各觀察使が地方長官としての本領を說き且つ本會議に於ては末節に拘泥せず至誠以て個々實質上の言を開陳し爲政の資に供する所あらしめたしとの意味を演述し直ちに諮問事項第一行政組織の改善に關する意見の再審議に入る各觀察使漢城府尹は代る〳〵各自の意見を縷述し正午休憩午後引續き同諮問事項に付審議し午後五時散會せり尙本日は任內部大臣議長として出席したるのみにして他部大臣は出席せず明日は午前十時半より開會する筈なり

●李學部大臣の訓示

李學部大臣は廿九日觀察使會議に臨み主管政務に關し一場の訓示演說をなす筈にて尙同夜は日本人倶樂部に觀察使一同を招き晩餐會を催すと云ふ

●財務監督局の權限に就て

韓國の財務監督局は日本に於ける稅務監督局に相當するものなるが兩者其の名に於て示さるゝが如く日本に於ては其の權限稅務に限り韓國に於ては稅務以外の財務即ち金融機關をも監督する權限を有するを以て度支部大臣は先日訓令を發し金融機關の營業所に臨監し業務の改善に就き大臣に意見を具申し及び金融機關執務者の風紀を監督する事等に關し內規を定めたりと云ふ

●嚴貴妃の下賜品

嚴貴妃より承寧府總管趙民熙以下に對し左の物品廿七日御下賜相成たり

一、紋緞二疋宛　承寧府總管以下各侍從へ
一、大團扇一個宛　從へ
一、扇子十一本　庭園廳へ
一、竹簾六件　順和宮へ

●一進會の活動

衰微に傾きつゝありし一進會は之れが頹勢を挽回せん爲めか將た他に目的の存する所ありしか漸く活動し來れるが如く近々鐘路附近に於て大集合を催し之れが方針を決すると云ふ

●暴徒討伐難

宇佐川軍務局長は韓國暴徒鎮壓に關する陸軍省の意見を齎し伊藤統監及び長谷川司令官と協議の爲二十五日東京出發されたる同局長の談を聞くに韓國に於ける今日の暴徒は殆ど草賊なるも何分地域我が本州に比適すべき所に漸く憲兵を合して二箇師團に足らざる兵數を配置しあるのみなれば其の討伐は頗る困難なり殊に二里三里を隔てゝ二十戶三十戶宛點在せる村落の間に蜂起するものなれば交通機關の不備と相俟つて今回增派したる兵數を以てしても一時に之を殄滅し能ふや否やは甚だ疑問に屬す予は今回是等討伐兵の配置狀況を視察し併せて今後の方針に關しても十分なる協議を遂げ狀況に據りては討伐方法を改正せん事は勿論なり要するに同國に於ける暴徒の根本的鎮壓に關しては軍隊威壓の外更に之を綏撫して我に德化するの手段を講ずるの必要あるべしと信ずと云々

●忠北首府變更

忠淸北道は公州を以て首府とし觀察府の所在地なりしが今回之を淸州郡に變更せんと上奏中なりしが同郡を忠北の首府とし觀察道の位置すべく裁可されたり

●平安北道觀察府位置

平安北道觀察府は寧邊郡に在りしが今回之を義州郡に置く事とし上奏中の所此程裁可されたり

●人蔘の病毒に就て

人蔘は韓國の特產物にして高麗人蔘として淸國人に貴重せられ輸出品中主要なる地位を占むる事は人の知る所其の產額最も多量なりし時代に於ては一箇年十萬斤以上に及びたる事ありしも然るに近年漸次其の產額を減少し昨年の如きは一萬斤に過ぎず本年は一府の不作にて僅かに五六千斤の間に在るべしと云ふ有樣にて其の原因は惡政にも存すべく又所謂人蔘泥棒に奪ひ去らるゝにも因るべしと雖も他に一の原因は萬病の神藥と稱せらるゝ人蔘にも一種の傳染病有りて此れが病毒は年々繁殖し人蔘圃を慘害する事甚しく惡政を改革するも泥棒を防止するも此の病毒にして撲滅せざれば人蔘の前途も頗る寒心すべきものあり度支部司稅局は財源涵養上茲に見る所ありて曩に技師富家正義氏を東京に派遣し其の病源及び此れが豫防方法に關し研究せしめたるが今同氏の談によれば開城の蔘圃は幅二尺五寸長七尺乃至九尺の圃園を一間と稱へ播種の際は一間に七百本以上千二百本を植ゆるも每年一回の移植をなし三回移植したる後は一間に三十五本を培養し六年乃至七年の後收穫するものなるが昨年の如きは三十五本中眞の紅蔘となして用ひられしものは五本に過ぎず其の餘の三十本は多く病毒のために腐蝕せり此の病毒は近年俄かに發生したるものに非ずして久しき以前より存在せしものなるべきも研究心に乏しき韓國人は此れを自然に放任したる結果現今の如く病毒の蔓延を來したるものなるべし余は此の病毒の研究のため暫く東京に出張したるが元來人蔘の病毒は單に韓國のみに存するに非ずして近來其の栽培に努めつゝ在る米國及び日本に於ても同じく其の害を被り此れが病毒は一種のバクテリヤにて何國の人蔘にも同一性質にして而も人蔘に限り他の植物を犯さゞるものゝ如く余が試驗したる癩病人蔘を檢微鏡に照したる時は十四五種のバクテリヤを發見し此のバクテリヤを培養したる結果白、綠、黑、赤の四種のみ培養し得て他は凡て死滅せり此の四種バクテリヤを無毒人蔘に注射して試驗したるに白色のもの最も病毒劇しき事を發見せり而して此のバクテリヤは何れもホルマリン液の散布及び日光の直射により生活力を失ふも寒氣に對抗するの力は極めて強し以上は東京に於て研究したる結果の概要にして此の研究を基礎とし目下開城なる人蔘政課に於て苗圃に對し四十二種本圃に對し六十三種の試驗を施行しつゝあるも何分右のバクテリヤは蔘圃の土壤全部に蔓延散在せる如きを以て一時に撲滅し盡す事は極めて困難なりと云々と余輩は此の試驗が好結果を奏し韓國の特產物として永久に其の聲價を保たしめん事を望む

●甜菜の試作及分析成績

昨年其筋にて甜菜の試作をなす成績如左

隆熙元年度に於ては本場の外再び纛島園藝模範場興業株式會社黃州出張所及元山愛知農園に依託して試作を行へり然るに本年度の氣候は前年に比して其狀況大に異り夏季に於ける恒例の雨期を見る事能はざりしは少しく變態にして之を要するに甜菜生育中通じて氣候乾燥なりしを以て從て其成績も多少前年と異なるものあるを以て左に試作及分析の成績を錄して參考に供す

試作成績

本場試作に供用せし畑地面積は約四反五畝歩にして砂質壤土より成り概して沃肥ならず之を施肥區（三百二十步）及無肥區（一反四畝二十步）の二區に分ちて四月下旬二回の犁耕を行ひ手把を以て均整し五月三日一反步に付五百匁の割合を以て獨乙產クラインワンツレーベナー種を播下せり播種法は畦幅一尺五寸に條播し淺く土を覆ひたり後足を以て踏壓す肥料は獨乙に於けるリグナル博士の計算に基き其最少量即ち一反步に付智利硝石にて窒素二五基過燐酸石灰にて燐酸四基を標準とし一反步に付智利硝石五貫目過燐酸石灰五貫目を播種の際に施行せり五月十二日發芽し五月二十二日六月五日六月二十七日七月十三日八月七日の五回に除草を行ひ五月二十七日六月十日の二回に間引を行ひ株間の距離を五寸と爲し六月十四日八月二十七日の二回に中耕を行ひ十一月十日收穫せしに其平均成績は次表の如し但し收穫の際圃場に於て根部の地表に露出せる部分より葉と共に切り去り殘りを根部の收量とす

	葉付總量	葉付頭部の量	根部の量
施肥區（一反步）	九八六、四〇〇	一九九、二〇〇	七八七、二〇〇
無肥區（同上）	五五〇、四〇〇	三四、八〇〇	四六五、六〇〇

尙は根部に付着せる土砂を抑定せしに約一割なりしを以て直接販賣者は製造に供し得べき根の量は一反步に付施肥區は七百八貫四百八十八匁又無肥區は四百十八貫四十匁に相當す之を獨乙に於ける一反步平均收量七百貫乃至九百貫に比すれば多少の遜色有り然れども本年は土地乾燥し之を以て當國に於ける平年と爲すことを得ざるべきなり（未完）

●北韓に於ける南淸日貨排斥影響

南淸に於ける日本貨物ボイコットが北韓の海產物に及したる影響を聞くに左の如し

一、市價の下落

（イ）海參（百斤に付）

昨年の當期に於ける市價は四十一圓五十錢乃至三十四五圓にして「ボイコット」發生前の如きは長崎に於て五十圓乃至五十三圓なる高價を現はせし者發生後忽ち三十六圓に低下し爾來益々低下して今や二十圓と云ふ絕無稀有の低下に至れり兎に角例年の當期に比し目下の市價は半減となれり

（ロ）乾牡蠣（百斤に付）

昨年の當期に於ける市價は四十圓乃至三十圓にしてボイコット發生前は上等三十七八圓普通品三十圓位なりしが目下は上等二十三圓普通品十六七圓見當なり

二、取引の狀況

元山より輸出する海參の多くは北淸向なるが多少の取引行はれつゝあるべき筈なれども事實は殆んど無取引に等しく南淸向を主とせる乾牡蠣は無論取引絕無なり

三、直接の損害

（イ）市價暴落の爲內地及元山に停滯せる現品の損害（未完）

●高等女學校現況（續き）

右に關する統計は左表の如し

最も尊信する理想的人物

紫式部 一四、瓜生岩子 七、稅所敦子 四、フランクリン 五、正行の母 三、三輪田眞佐子 二、伊藤仁齋 一、井上れでん 一、楠正行 一、新井白石 一、靜御前 一、エドワーズ 一、ナポレオン 一、奧村五百子 一、ナシ 一

下田歌子 一二、二宮尊德 六、楠正成 五、ナイチンゲール 四、瀧鶴台の妻 三、山田一豐の妻 二、光明皇后 一、伊藤統監 一、跡見花蹊 一、平重盛 一、德川光圀 一、乃木大將 一、父母 一、今迄の學校長 一

好む學科

算術 二四、圖畫 七、修身 五、地理 四、作文 二

裁縫 一一、音樂 六、習字 四、英語 三、體操 一

歷史 九、理科 五、讀方 四、國語 三

嫌ふ學科

地理 一六、書方 八、裁縫 五、國語 三、作文 二

圖畫 一〇、理科 八、体操 四、文法 三、ナシ 二

算術 三、音樂 七、歷史 四、英語 三

希望する業務

裁縫 一六、官吏 六、學問 二、小間物屋 一、姑舅に仕ふ 一、看護婦 一、國家のために身を投ず 一、なし 一五

商業 四、良妻賢母 四、養蠶 二、實業 一、軍人 一、造花 一、技師 一

教育家 [illegible]、家庭 [illegible]、慈善的事業 [illegible]、醫師 一、農業 一、音樂家 一、圖書 一

自覺せる良習慣

朝起 二六、家事手傳 四、家庭の清潔 三、冷水摩擦 三、人を愛す 二、父の怒を受けし事なし 二、勉強 二、自慢せぬ 二、仕かけた事をなし通す 一、每朝の結髮 一、正直 一、節儉 一

規律 六、子供を愛す 四、同情 三、動物を愛す 二、着物を正しく着く 二、學友に怒りし事なし 二、よき返事をなす 二、炊事手傳 一、兄弟仲よし 一、朋友と爭論せし事なし 一、作文 一、なし 五

自覺せる惡習慣

短氣 二四、喧嘩 五、橫着 三、間食 二、使の時直ぐに立たぬ 一、姿勢の不正 一、なし 一

朝寢 一三、不規律 五、惰怠 三、友の惡口 二、大食 一、人に言葉をかけるを好まぬ 一

夜更し 八、不注意 四、淚もろし 二、動物虐待 一、慾 一

好む娛樂

音樂 二七、學問 七、話 三、テニス 三、茶の湯 一

散步 一五、裁縫 六、學校に來る 三、園藝 二、なし 五

カルタ 七、雜誌 五、家庭 三、圖書 一

好む運動遊戲

テニス 四八、遊戲 三、カルタ 二

ダンス 一四、散步 七、寫生 一

鬼事 八、遊動圓木 五

課外讀み物

女學雜誌 六五、雜誌 五、大韓日報 四、京城新報 一、大阪每日 一、なし 三

朝日新聞 [illegible]、京城日報 [illegible]、九州日々新聞 [illegible]、少年世界 一（未完）

●世界年鑑の獻上　伊東祐穀氏著の明治四十一年世界年鑑三部を伊藤統監の手を經て同人より皇帝陛下へ獻上せり

●賊徒の歸順　抱川郡外所面下松洞里番地農民鄭永煥は三月廿四日賊徒首魁黃某の配下に加はり其使嗾を受け居りしも今回前非を悔悟し二十六日歸順出願に付免罪文憑を下附せり

●近事片々

▲西園寺原松田等拓殖會社に關し感謝の旋也と公言し議會を遲延せしめつゝありと

▲暴徒の鎮定と機運の到來を待つの外なしと飽迄冷淡に經し込み容易に運ばざる也

▲桂侯之に對し暴徒と會社とは別問題也速に成立せしめざる可らずと憤激し居ると

▲暴徒鎮定には考ありと當局に評判すれば語るも要なしと暗に對韓策の抱負を示せり

▲曾根子兩者の間に調停しつゝあり融和すべきも政府の仕打は甚卑怯厄介なる事也

▲伊桂間の融和とは則是也現閣と伊公は切れぬ間柄此間の消息察すれば殆ど兒戲也

▲宇佐川軍務曰く現在の軍隊にては一時に討伐し能ふや否や疑問也と片々亦同感也

▲狀況に依りては討伐の方法を改めむと左もあるべし將軍韓國の事情に通ず拔る勿れ

▲統監の綏撫的傾向に賛同せば到底剪滅の期なし茲緊褌一番英斷の擧に出でよ嘱望

▲羅州靈山の自衛團長李有善以下何事か爲に裁判所に拘致さる或る誅求の件也と

▲折角組織したる自衛團も各地に於て濫りに現はし人民より虎狼の如く過せらると

▲地方青年が京城留學の首途父兄に向て曰く斷髮せざれば退校されむ存髮保し難しと

▲父兄亦容易に斷髮する勿れと戒諭す子弟亦歎して曰く斷髮は地方に於る大問題也

▲東門外三四里の所に暴徒集來し警部巡查等と接戰警部巡查重傷を負へるとは眞乎

▲雲南革命軍討伐に北京政府佛國に援助を求め佛軍之に應じて進發せりとの報あり

▲淸國の禍亂は極東平和に故障を生せむ帝國政府の傍觀は些と怠慢に非ざるか否耶

▲後藤露國商務大臣に招れ露人は東西兩洋文明結合の貢獻ありと語る

▲滿鐵鐵道聯絡の連絡は滿洲哈爾賓大連との滿鐵並存の熟議兩者間に進捗しつゝあり

▲熟議成立せば歐州旅客の大運を經過するもの多からむ兎に角鐵爵の遣方は面白し

▲萬國新聞記者の大會を大博覽會に催さむと共合所造設置の計畫ありと甚結構也

▲五日目亦番狂はせ有連敗の綠島駒ケ嶽を破り錦洋大刀山に破らる實に勝敗時の運

▲綠ぎ駒の勝敗は些と怪しいが兎に角敗は敗逃れ場所の駒何ぞ振はざる前途氣遣し

▲錦ぎ今場所は衆人錦の者と思ひしに案外也大刀は前場所も錦敗れたり錦の雖

▲梅と朝嵐の取組朝の敗は余儀なしと雖も能く橫綱を惱ませし所は道は朝也賴母し

▲好角家一樣に氣遣ひし常陸未だ大敵と手を合せざれど取口鈍り衰へたり共兆へず

▲士官學校御行幸

本日陸軍士官學校生徒卒業式を擧行せられ天皇陛下の御行幸あり陛下は雨中にも係はせられず御徒步にて閱兵遊ばせられたり卒業者は步兵科二百五名騎兵科十二名野砲兵科二十八名重砲兵科十一名工兵科十七名にして他に淸國留學生の卒業したるもの七十四名あり（廿七日東京發）

●終身囚の減刑　强盜犯にて終身懲役に處せられ忠淸北道警察署に在監中逃走したる罪人奉鶴なるものは其後自首したる廉を以て法部大臣より減刑を上奏せしが皇帝よりは自首したる情狀を酌量し特に三等を減ずべき旨裁可されたり

●淸野南滿理事の歸任　來京中の南滿州鐵道會社理事淸野長太郎氏は本日仁川に下り同地より大連に歸任すと云ふ

●財務監督長の歸任　會議のため來京中なりし財務監督局長中川大郎は再昨日矢野平壤は一昨朝佐々木金州は昨午後野手元山は三十日朝出發何れも歸任す

●小田柿氏出發　本店詰に任ぜられたる三井物產會社京城支店長小田柿捨次郎氏は本日午前八時三十分南大門發にて赴任の途に就かれたり

●伊太利領事館の移轉　伊太利領事館は今度西小門外元米國宣敎師館に移轉

●岡田榮氏　多年神戶大阪各裁判所の判事たりし同氏は旭町二丁目に於る事務所に在りて今回在官の儘韓國政府の囑託を受け裁判事務の指導をなし居りしが今回辭任の上辯護士として一切の事務に從事すると云ふ

▲士官學校御行啓

[illegible]

…兵科十一名工[illegible]國留學生の卒業[illegible]廿七日東京發[illegible]にて終身懲役に[illegible]在監中逃走した

る崔奉鶴なるものは其後自首したる廉を以て法部大臣より減刑を上奏せしが皇帝よりは自首したる[illegible]特に三等を減ずべき旨裁可されたり

●河野南滿理事の歸任 來京中の南滿州[illegible]

●鐵道會社理事河野長太郎氏は本日仁川に下り同地より大連に歸任すと云ふ

●財務監督局長の歸任 [illegible]なりし財務監督局長中川大佐は一昨日矢野[illegible]平壤は一昨朝佐々木金州は昨午後野手元山に就かれたり

●小田柿氏出發 [illegible]は三十日朝出發何れも歸任す 本店詰に任ぜられたる[illegible]本日午前八時三十分南大門發にて赴任の途

●伊太利領事館の移轉 旭町二丁目なる伊太利領事館は今度西小門外元米國宣教師[illegible]

●岡田榮氏 多年神戶大阪各裁判所の判事の職にあり一昨年關東都督府法院判官に轉じ在官の儘韓國政府の囑託を受け裁判事務の指導をなし居りしが今回辭任の上辯護士[illegible]訴訟代理辯護其他補佐鑑定等一切の事務に從事すると云ふ

美人の行衛 (四)

閑 坊

夜は甚く更けたりと謂はんより寧ろ曉方近くなりぬれど此處の一家は依然寢もやらず美人は何か怒を催して眼をとろんこにして其の艶なる容は益々艶にほてれり「横田が逃げるとあれば何も追い廻す必要は無い、右衛だつて其うだよ、俺を嫌がつて逃げやう、夫れを是非にと云つて何日迄も尻を付け廻しはしない、ハッハ、ね横田も我々の目的を遂せさする爲めに自分を犠牲に供する程當世氣質を離れはしないから」と丈夫の氣焔は漸く荒くなり行かんとす、此の美丈夫に就て少しく語らんか、彼は名を大藪氏之助と云ひ九州佐賀の人日清戰爭當時より北清に在り日露戰役に際して後に北滿の地に止まり多くの少壯部下を從ひ北滿の某地點に根據を据ゑ自ら三江棲と號し滿州の義軍と稱する方面に活動し豆滿江、松花、黑龍の三江流域に亘りて其の大成功を奏せし者、其後依然として大の貢獻を國家に致せし者、其後依然他の多くの志士と共に或る方面に活動して名を擧げ某地の偉業を擧げんと企畫しつゝありしは單に例國の同情を經とし緯とするの我が外務當局の方針は彼等浮浪の輩をして能く活動せしめず彼れは已むを得ず外務警察の圏外を去りて其の妻女貞子及び部下の一人なる川田少年とを伴ひて暫らく根據地を鴨綠江の上流帽兒山下の一寒邑に移したるは昨四十年初夏の頃なりしなり、然るに時は恰も間島問題の漸く喧しからんとする時なりしを以て彼れや久しく此の僻地に留まる可らず十月下旬既に地に捧りし堅氷を踏んで奉天に出で時の總領事に面し滿腔の抱懐を吐露せしも容れられず、のみならず其の日退清令を受けたるなり、彼れは奉天の宿舍に於て右の退清令を手にし怒髪冠をついて憤慨したるも及ばず、去れど心に期する處あれば又多くを語らずして妻女と川田少年とを携へ斯くして此の灌城に人知れず入りたるなり、彼れが奉天を去らんとする前、何事か各地方に在る同志部下に傳へられたるものありたるも、那は幸にして他の知る處とならざりき

次ぎに其の妻女貞子は久しく直隷總督衙門に在官せし邦人某が長女にして日露戰役當時はこれ又彼の沖貞介等の志士を扶けこ今は遠く北米桑港なる或る會社主任某氏夫人として在る東敏子女史と共に日夜國事に奔走したる才色双絶の女傑なり、日露の役平いて後ち天津に於て大藪氏に嫁し能く所天の爲めを扶け常に男子の爲すに適せざる方面に活動し最も同志部下に愛敬せられつゝあるなり

●巡査の話 世間に横着な者と[illegible]さも言ふ[illegible]い・ふ者は去る十八日の朝何所より流れ來りしか知らねども旭町一丁目の三河屋に投宿し太平樂を唱へて發藝三昧に日を送りけるが同屋にては已に一週間になることとて二十五日に宿料の請求をなせしに政次郎は自分は一文の持合せなけれども明治町二丁目の瀧口商店の二階に居る桐原といへる者は實兄なるにより間人より支拂はしむべしと

新茶 着荷

富士の里茶舖

京城本町五丁目

いふより三河屋にては雇人矢野新一(十七)を馬に送せしに政次郎は新一を伴ひ明治町一丁目の梅の屋といへる料理屋に連れ行き十一圓餘の散財をなし一寸出て來るとて新一を殘して外出し其のまゝ歸り來らず三河屋にては宿料を踏み倒されたる上に此の散財料を支拂ふて新一の身受をなし竊かに政次郎の所在を搜索する內廿六日の夜政次郎は旭町一丁目の江上トセ方にて鱈腹飮食したる末仲居の正木アサ(十九)を連れて歌舞伎座へ芝居見物に行き何時の間にか逃走したりとて江上方にても政次郎の所在を搜索する由を傳え聞き昨日兩家連名にて其の筋へ告訴に及びたりと

●巡査ヨーイ 一昨日の午後十時頃南部警察署の前にて巡査ヨーイと絶叫する者あるより居合の巡查は何事ならんと急ぎ門外に出で見れば二人の男が一人の男を手取り足取りして無理無体に牽き行かんとし一人の男は行かじと爭ふ所にて其の仔細を訊ねて見ると一人の男は三重縣河下郡黑田村の者にて永樂町一丁目木下國三郎方に寄寓する鈴木萬造(三十)と呼ぶ者なるが何所で飮みしか泥醉となりて西小門外獨立門通りの飮料水賣場に來り亂暴をなせるより同場の雇人上川常吉上川清松の兄弟が引つ捉ねて同場の持主たる本町一丁目の大村親の宅へ連れ行かんとするものなること分明したるを以て萬造は直ちに警察署に連れ行かれ其の醉の醒めるを俟つて說諭放免せられたり

堅薪、松薪
松葉、松炭
木炭、松枕木

京城旭町四丁目 諸官衙用達
眞下大吉
(電話九六八番)

新町遊廓大桝屋の抱二等藝妓白糸(並木いち)當六(宇山か[illegible])松葉(秋元とみ)の三拍子は一昨日の午前十時頃日出度梅檢査が濟んだから何か面白いことをして遊びたいものだとは言ふものゝ芸界の事那時は勝手の事も出來す支那人でも朝鮮人でも構はずに來ればよいに

◎三拍子のれ眼玉頂戴

る崔奉[illegible]

師の來る迄の手當として先づ病人の心を强く安靜にせしめ吐瀉物は一定の場所に不潔に涉らぬ樣何時にても消毒さるゝ樣にして夫れから釜か何かに湯を盛んに沸かすが宜い、熱い湯が出來たらば湯タンポか何かにて病人の腰部や腹部を充分溫める、之れは極めて必要のことである唯ひ一時的の吐瀉にせよ之れが爲めに大に病狀を輕くする者である、此の場合醫師の投藥を待つ迄は質藥などは用ひぬがよろしい

と話して居る所へ手相人相緣談待人吉凶禍福の占はいかにと例の盲目先生がやつて來たので大枚二錢銅貨一個をはづんで見て貰つたら進むに利あり樂み其の中に在りと云ふので然らば外に進んで行くと嬉しいことがあるであらうと勝手のよい判斷をして三人打連れ能き鴨は居らずやと本町九丁目邊までふら〳〵風羅ぶらと出でたる所を無粹な巡査に見付けられ何所へ行くのかと訊問せられて其所の貸本屋へ行くのですと即座の頓智で答ねたるもの〻臨域外であるといふことに氣がつかず遂に警察署へ呼び出されて今回は許してやるが將來は容捨はせぬどの大目玉を頂戴し八掛も當にならぬと大に憤し居れるよしなるほどれ氣もじ[illegible]

●强盗 又しても韓人の强盗沙汰敢て珍らしくもなきことながら去る二十六日の夜太平洞の客主陳昌洪方へ朝鮮の軍刀を携ねたる四名の强盗闖入して現金二十二圓と周衣一着朝鮮傘一本を横奪し去れりとのことなるが其の軍刀と見ねしはこれも例の銀紙張りの木刀なるべし

●俗謡● 吉崎

紋に蝶々をつけたる故か粋な柔の葉の裾模樣
瓢枕に轉寢の主を三味の調子で起したい

●京城醫院分院の開設 豫て東京帝國醫科大學選科に入り內科、小兒科、皮膚病、花柳病等を專攻し日本醫學校に於て教鞭を執り且つ同校附屬病院の開設者として斯界に貢獻する處尠からざりし菅醫士は元大韓赤十字病院長吉本醫士と共に京城醫院を開設し非常の信譽を博しつゝありしが今回患家の要諭により西小門內に分院を設け普く患者の診療に應ずる由因に本院は吉本醫士も出張し診療に從事すと云ふ



●橋口商店の乾麵類販賣 明治町一丁目なる同商店は去る三十九年以來乾濕饂飩素麵の製造業を營みつゝあるものなるが同業に就ては多年の經驗に依り其後の製品は品質良好にして目下對行盛なる由

家庭と衞生

●醫者の來るまで

近來暑氣が加はるにつれ自然と消化機病に犯さるゝ者が多くなる、特に腸胃加答兒などは甚だ多いが彼の恐るべき赤痢や虎列拉の初期も或は腸胃加答兒と同じ病症を來たす事もあるから若し斯かる場合に手後れとなると夫れこそ取返しのつかぬ事になる、で若し家內に俄かに斯する病人が出來た場合は早速醫師を迎ふるは無論であるが醫

●平民文庫 散步の時季となつた砂白く松風涼しき南山に登りて京城全市を下瞰すると云ひしれぬ感懷に打たるゝ者がある

一書生) ▲乞ふ其の感懷を述べ玉へ(記者)▲松葉亭の玉ちやん群山から便りがありましたか(電話掛)▲京城の商人は何を本位に商賣をするんですか(荊吐郎)▲本町五丁目の某紳士の圍い者の園さんは潮月と一緒に何處かに引越たんですか(あけぼの)▲京城市中の水撒業請負は如何なりしや警察署にて許可したらば速かに開始したらば如何に巡萬丈で步かれはしない(集配人)▲可哀相に韓人巡査の月給は大枚十圓內外だとさ夫れで命を的に暴徒の討伐にも行かねばならぬのか(同情生)▲銀行會社商店などが一團になつて聯合大運動會をやつてはドウです▲韓人が汚水を遠慮も無く大道に撒くの丈けは其の筋で注意して貰ひ度い(△▲)▲京城程の地で朝湯が一軒も無いとは些と合點が行かぬ(好浴生)▲待合と料理屋と下等淫賣屋との稅金の差を問ふ(好奇漢)▲妓生の行商を始めて官舍廻りをやれば乾度金が儲かるに違い無い(發明博士)▲大西鄕の夢は今頃奈邊に通ふて居るであろうか(空想家)

◉天氣豫報(自廿七日午後六時 至廿八日午後六時)

南又西の風雨後曇り
韓國氣象概況
南又は東の風吹き概ね雨天なり

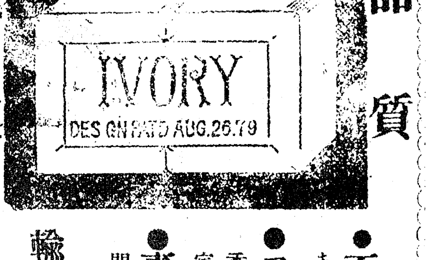
廣告

衞生無害
無菌ラムネ、ミカン水

翠袖の影漸く暗く滴らむとす善良なる淸涼飮料水を要するや啖々を俟たず然るに當地に於ては未だ適當なる淸涼劑を見ず弊店は茲に視る處あり土地淸楚にして飮料水の善良なる所を選定し之に加ふるに原水に殺菌を施し又原料は純良品を選び製造販賣仕候間各販賣店に就て御購求を乞ふ 京城大和町二丁目

製造元 金水舍
藥劑師 渡邊悅之助
京城明治町一丁目(電話六二四番)
一手販賣所 羽田野氷店

今回左記分院へ移轉し一般患者の診療に從事す
西小門內和泉町元日韓印刷會社跡
京城醫院分院
(電話架設中)
院長 菅 恒



アイボリー石鹼
純良 品質

●石鹼の撰擇 は香色にあらず品質純良なるにあり
●アイボリー石鹼 は香料着色を省畧せし純良の家庭向實用石鹼なり
●賣捌所 は京仁各藥店小間物店にあり

輸入元 東京 藤原京城支店
電話九五九番

白井石材販賣部
京城永樂町二丁目

開業
石材大販賣
京城永樂町二丁目(赤門前)
堺事務所
電話 番
土木建築測量設計

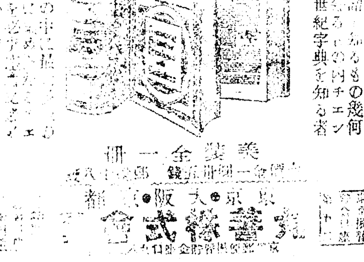
辯護士開業

小生神戶大阪各裁判所判事關東都督判官を歷任し以て韓國政府の囑託を受け漢城裁判所事務補佐の任に當居候處今般辭任の上當地に於て辯護士業務に從事し左記諸件法律事務熟誠懇切に取扱申候
一 民事、刑事、訴訟代理、辯護、鑑定輔佐
一 諸官廳に對する請願
一 定款及契約書等起案
一 民商事に基く淸算事務

明治四十一年五月

大阪地方裁判所
辯護士 正七位 岡田榮
事務所 京城旭町二丁目十八番戶
出張事務所 民團役所橫通り京城廳前

Chambers's 20th Century Dictionary.
チエンバース 二十世紀英字典



英語は第二の母國語なり[illegible]

[illegible]

日韓病院
大平町二丁目
大漢門前

▲各科治療
▲入院隨意
軍人、新聞配達、職工、學生、諸君は藥價半減可仕候
無代施療券配布方民役所へ托し置き候間該券持參の方に限り無代治療に可應候
京城長谷川町二丁目
蘇生病院

◉會員募集 規則書申込次第送呈す
初等、中等、高等、各科ノ語學講習生ヲ募ル
別科國語及漢文ヲ教授ス○本會ハ各專攻ノ教師担任ス○個人教授、出教授、通譯、起稿文、飜譯等ノ需ニ應ズ○會員ニ何時入會セラルヽモ入會當日ヨリ起算シテ向フ滿三十日間ヲ一ケ月分ニ換算スルノ便益アリ○會員ノ希望ニヨリ晝夜何時ニテモ教授ス
京城大和町二丁目(駐剳軍司令部前通)
日英韓 語學講習會

東京
生ばそ
京城壽町三丁目坂井病院隣
東京庵
(電話架設中)

▲懇切な通關
懇切を本旨として通關を取扱ひ迅速を特色として運送に從事致候間御用命奉願上候
京城南大門外吉野町
▲迅速なる運送▼
㊁運送店

染物並洗張
迅速叮嚀を旨とし染色艷麗にして雅實なるは本工場の特有なり
龍山元町四丁目(元寺村跡)
桑澤工場

京都龍文堂製
鐵瓶及風呂釜
淸水燒茶器各種
京城本町五丁目一番戶
馬木商店

改姓廣告
拙者儀今般矢島と改姓仕候間此段謹告仕候也
陝內政治事
矢島政治

月刊
朝鮮
每月一回一日發行
定價一部拾錢
郵稅一切前金
京城本町二丁目
日韓書房

一百濟餅　一高麗團子

弊堂製造の百濟餅並に高麗團子は今を去る數千年の昔吾が皇師の三韓征伐のとき百濟の王吾が皇子の長途御遠征の御心慘しく渡らせらるゝを樂しみ奉り始めて献納申あげたる物にして余が曾祖旋凱の後ち家系に其事柄を記し置きぬ其後余が渡韓以來韓國各地方漫遊の序百濟餅高麗團子の所在を索め之を購はんとするも今は絶えて其名だに知るものなきを遺憾とし余が家系に基き製作を試みしに風味雅良にして高尚世に比類なき韓國唯一の好物を得たり內地渡航諸君の朝鮮土產又は病氣見舞等に輕便品として嶄新なる名物の親玉なれば開港廿五年祭を機として廣く世に販賣しぬ御愛諸君多少に不拘御用命御付られ度偏に奉希候

一太神宮神輿渡御紀念カステラ煎餅

仁川港宮町一丁目　藤井千萬堂敬白

●入院隨意●

●內科●眼科●產科 ●外科●小兒科●婦人科●花柳病

當院長醫科大學に多年研究中の處今般左記の所へ開業致し一般患者諸氏の診療に從事す

京城本町六丁目　共立病院

花柳病專門　十字病院

龍山老松町　院長 帝國醫科大學選科得業 望月憲磨

今般更に眼科部を設け最新式機械を設置し眼科全部の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治績に徵せられんことを

入院隨意

●內科●小兒科 ●外科●婦人科 ●眼科●花柳病

京城南山町三丁目　吉田病院

鍼灸術開業

昨年中龍山榮町龍山座前ニ於テ營業ヲ始メ御引立ニ預リ候處今般京城御得意樣ノ御招キニ應ジ左記ノ處ニ於テ開業致候間何卒舊ニ倍シ御引立ノ程只管奉懇願候

京城大和町二丁目（義和宮殿前）　鍼灸術　中島惠愛堂

五月二十一日より三十日まで

夏物大賣出し

最新流行吳服太物取揃へ陳列仕候並に見切反物割安品賣出し

現金に限り正札より一割引

右の日割を以て賣出し仕候間何卒賑々敷御光來の程奉希上候

御進物用御便宜上金五圓以上吳服券も發賣仕候

君ケ代足袋　發賣元

京城本町四丁目　山口吳服店　電話九番

謹告

日本燒 支那燒 煉瓦製造販賣

日本燒は有名なる平壤製にして日々の產出高二萬五千以上今回鐵道管理局と運賃低減の契約を致し如何程大口の御注文にても調達致すべく値段も成行相場より安價に御契約可致候間多少に不拘御下命被下度願上候

平壤京谷煉瓦製造所代理店　京城旭町一丁目　益田商店

韓國第一等の銘酒 大賣出し

釜山「今西式」醸造の銘酒は大日本大藏省の分析試驗に由りて韓國に於ける一等酒の名譽を博したる韓國第一等の醸造銘酒に御座候今回京城支店を設置すると共に來る五月二十日より六月二拾日迄利酒勞々廣告の爲め左記割合に依り發賣致し候間續々御試用被成下度奉希候也

◉勝本　一舛に付 金六十五錢（ビール瓶一本に付金二十一錢）
◉四季の友　同 金五十五錢（同上金十八錢）
◉門の松　同 金四十五錢（同上金十五錢）

尚ほ一舛二舛賣にも充分入舛可仕候

右の外樽賣御賣は特別に御相談可仕候

京城大和町二丁目（軍司令部前）　今西京城支店

五月廿七日より六月三日迄

夏衣大賣出し

現金ニ限り正札より一割引

見切反もの各種通常價格の半直（但し見切反物分割引なし）

本町五丁目　電二二四番　山枝吳服店

◉測量諸般製圖設計　其他土木事業に關する一切

自分儀過日來地方へ出張罷在候處今般歸京專ら江湖諸君の御依賴に應じ前記の業務取扱候間續々御用命奉希候

京城明治町一丁目第百八番戶　山本測量事務所

統監府御用　諸官衙人力車　荷物荷造及運搬

本店 京城曙町（電話七三番）　營業 同本町三丁目（電話四〇番）　伊藤組

五月節句用　鯉幟 鎧人形　其他各種　大勉强

化粧品小間物卸商　京城本町四丁目　河村百福號　電話七四六番

（商店）

日本習庵　味噌醬油製造　乾物荒物罐詰　銘茶食料雜貨

漬物問屋　京城本町五丁目　大上商店（電話二五一番）

廣告

丸　洋式製造瓦販賣　並に御好に應じ賣渡し可申候

京城旭町二丁目　橘辰三郎

京城本町四丁目　小室支店

滋養補血　●內務省免許衛生試驗濟●陸海軍赤十字社御用品●

鐵冷鑛泉　效驗如神

鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候

入浴時間　自午前七時至午後十二時

京城本町一丁目郵便局前　鐵冷溫泉

板材木生石材販賣

各竹類新荷着　座敷廻り諸材料取揃あり

京城大和町一丁目　江藤材木店

至急廣告

弊店儀先月以來淵上商店ノ一部ニテ臨時營業罷在候處愈去廿日新築家屋へ移轉仕從前ノ通營業仕候間舊ニ倍シ御引立ノ程伏テ奉懇願候　謹言

各種洋藥賣藥繃帶材料其他　大販賣店

京城本町四丁目　近藤貴生堂藥房（電話一三八番）

足踏白米大賣出し

◉特等壹升金十七錢　◉並等同 十六錢　◉上等同 十六錢五厘

◉俵賣は特に御相談可仕候

足踏米の特色は他の機械搗白米に比較し美味にして光澤を有し候のみならず容量の增殖は一層多大なれば經濟上頗る御德用に候何卒多少に不拘御用命仰付られ度伏て御願申上候

追て御申越次第遠隔と雖も早速持參可仕候

京城壽町一丁目　安田精米店

熊平製造金庫

東京 竹內製金庫

大阪二重瓶並ニ回轉式 消火器

韓國販賣部 京城本町一丁目　熊平商店　電話六二四番

染

物友仙小紋　更紗黑紋附　其他京染

京都市新シ町錦小路北入（電話千六百二十一番）　中井染業店

同 分工場　京城大和町二丁目二百五十二番戶

◉蠟引最新式機械應用◉

●統監府 ●各官衙 ●購買組　御用達

京城南山町三丁目本願寺下　阪洗濯店

今般最新式機械を購入致し且つ熟練の職人數名を更に聘し極力大勉强仕候間精々倍舊の御愛顧御用命の程伏而奉希上候　敬白

●脚氣病妙藥の親玉●

藥王散　此藥王散は如何なる難症の脚氣病と雖も全快す

京城本町七丁目　高橋三光堂

第二回荷着

一蚊帳　一綿類　一浴衣地　一久留米絣　一備后縞絣　一布團地

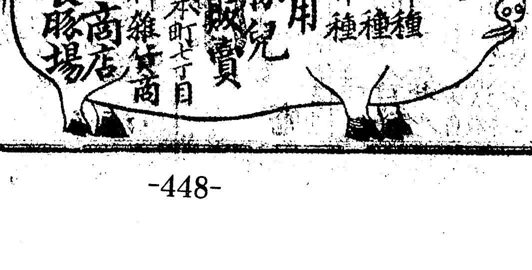
珍柄種々アリ

京城明治町二丁目（電話二六一番）　卸商　唐川商店

龍山旭橋通　唐川支店

高等理髮舘　京城相生町南門前　秀床

壹ケ年ニシテ利益十倍ト成ル



●大阪豆腐●

大阪滋養大豆ソップ　右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく　右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目　●木のめ田樂●　中瀨商店

金融店、登記書類の代書、土地家屋賣買、諸錢貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量

旭町一丁目民役所構　岡田幾三郞　取次電話二六八番

日本大學卒業　日本法律學士　岩本英夫法律事務所

京城本町一丁目八十四番戶 電話六四二番

仁川港新町一丁目九十七番 電話五二七番